

った時、フト横を見ると、誰かが風呂を沸かして下さっている。「どうも御苦労さんです」と云うと返事をしてこちらを向いた。「アレ、この人は先程下津井まで迎えに来て下さった住職さんだ。」全く驚いた。ズボンを経のあたりまでもたくしあげて、二つの湯を掛け持ちで沸かして下さっている。この人が住職——。強く胸を打たれた。

食事の用意から、寝所の準備から、なにかもを娘さんと二人でして下さった住職は、翌朝は早くから高階保遠入道忍の館跡を案内して下さった。やがて別れのときがくると、自転車を担いで、あの三、四十段もあるであろう石段を降り、またわざわざ船着場まで送って下さったのであった。いつまでもいつまでも、船が小さく、やがて見えなくなるまでも、手を振って別離を惜しんで下さっているのが、いまでも、まざまざと見える。

聞けば、住職は、この島の人ではないという。では、この人が、この島にこられたのは何のためか。この寺に、これほどの愛着を持って生活しておられるのは何のためか。この人に、そうさせているものは、いったい何か。その、自己の人生に徹して、一筋の道を行く住職の姿が、いまでも忘れられない。

あの住職のように、自己の道に徹している人も、世の中にはないわけではない。しかし、僕は、そうなれない。せつかく、真宗学を学びながら、これが、自分の道になってこない。学問と自分が平行線。まじめに考えようと試みても、いつの間にか自分は、真宗学の局外者になってしまっている。この平行線が

一つの点に交る日のために、僕は、努力しなければならない。真宗の教えを学ぶことが、ほんとうに自分の道になる日のために——。あの、己れの道に精進する住職のようになる日のために——。

## 祖師たちとともに

藤井善隆

今回の真宗学会の旅行を振り返って、二、三感じたままを述べてみたい。

真宗学とは、いうまでもなく、親鸞や法然の教えをおして仏教の真宗を学ぶことである。特に親鸞によって明らかにされた仏教の真の精神を学び、もって真実の宗教の意義を、われわれの人生に聞き願わすことであると思う。親鸞にしても、法然にしても、彼等独自の人生体験と、その人間的苦悩を通して、換言すれば生活体験を背景としてその道を聞き開いていったのである。したがって、それを学ぶ我々は、彼等の聖教の文字づらを読取るだけではなく、その生活の背景というものを感取し追体験してゆく思いをもって、彼等の語るところを聞かねばならぬのであろう。そうでなければ真宗の教学は、よく了解され難いのではなからうか。

祖師達の立った場に実際に我々が立ってみて、そこから祖師

達の感じた何ものかを感じ取るという努力も忘れてはならないと思う。そういう意味で今回の旅行は、法然上人の誕生の地、流罪の地等、実地に足を踏み入れてみて、少なからず法然上人への親しみが増し、今後、真宗学を学んでいくための糧を得ることができたように思う。

仇敵への怨憎の問題をかかえながら、一切衆生救済の道を求めて出家を決意された幼少の頃の上人、流罪の身となって人生の寂寞を嘗めつつ念仏一つに喜んでいかれた老後の上人——遺された数々の遺品は、時の隔りを超えて、今も我々に何かを語りかけつつある。それは鈍感な私を誘って、深くものを思う世界を知れとうながすかのようにであった。

日頃、知己の少い私には、なごやかな学会の先輩諸兄の雰囲気接する機会を得、少しは顔なじみになれた事も、また嬉しい。旅行計画の運営の一切にも別段いうことは無いが、欲を言えば、巡拝地をもう少し、しばってゆっくりゆとりを持って拝観出来ればよかったと思う。しかし、限られた日数ではこれでもいたしかたのない事であろう。二泊三日の旅程も丁度適当。今後とも会員相互間の親交の為に、年に一度この程度の旅行は続けてほしいものである。最後に、先生や諸先輩、それに学会委員の諸兄など、労を厭わずお世話くださったみなさん、「どうも、ありがとうございます」。

もしそれ造像起塔をもて本願としたまわば、貧窮困乏のたぐいはさだめて往生ののぞみをたたん。しかるに富貴のものはすくなく、貧賤のものはなほだおとし。もし智恵高才をもて本願としたまわば、愚鈍下智のものはさだめて往生ののぞみをたたん。しかるに智恵のものはすくなく愚癡のものはなほだおとし。もし多聞多見をもて本願としたまわば、少聞少見のともがらはさだめて往生ののぞみをたたん。しかるに多聞のものはすくなく、少聞のものはなほだおとし。乃至。自余の諸行これになぞらえてしんぬべし。まさにしるべし、かみの諸行等をもて本願としたまわば、往生をうるものはすくなく、往生せざるものはおからん。しかればすなはち、弥陀如来、法蔵比丘のむかし、平等の慈悲にもよおされて、あまねく一切を撰せんがために、造像起塔等の諸行をもて往生の本願としたまわす、ただ称名念仏の一行をもてその本願としたまえり。

『選択集・本願章』より